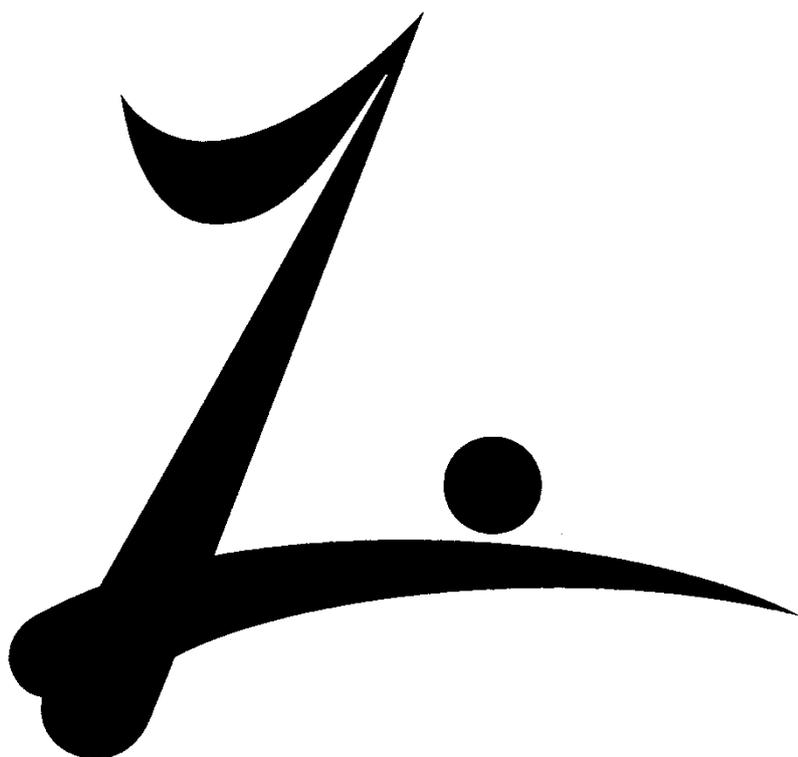


美郷町事務事業最適化計画



秋田県美郷町

令和5年3月

令和6年2月改訂

目 次

| | |
|--------------------|---|
| 1. はじめに | 1 |
| 2. 事務事業最適化計画の策定方法等 | 1 |
| 3. 事務事業最適化計画 個別シート | |
| (1) 総括表 | 2 |
| (2) 個別シート | 4 |

1. はじめに

地方自治体を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化の進展や行政需要の多様化などに加え、近年頻発している自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応など、常に変化しています。

そのため、行政サービスについては、社会情勢の変化や住民行動の変化、ニーズの変化を踏まえ、その必要性や有効性が見直すことが求められます。

一方、その行政サービスを支える財源や人的資源に目を向けると、財源については、生産年齢人口の減少等による税の減収や社会保障関連経費の増大により、財政状況が一層厳しくなることが予想されるとともに、人的資源については、美郷町職員定員適正化計画を踏まえた取り組みにより、平成16年の職員総数310人に対し、令和4年4月1日の職員数208人となり、102人(▲32.9%)の削減をしています。

こうした状況の中、限られた財源と職員体制で、住民サービスの維持や利便性の向上を図る取り組みを行うべく、「美郷町事務事業最適化計画」を策定し、この計画に基づく事業のスクラップ・アンド・ビルドを行い、真に必要な行政サービスについて、その質を高めながら、継続して提供していく取り組みを推進していきます。

2. 事務事業最適化計画の策定方法等

各事務事業における課題等を「手法の変更・見直し」・「住民ニーズの低下」・「事業目的の達成」・「事業集約の必要性」・「事業規模の縮小」・「その他」から分類し、その課題を踏まえた最適化の方法について「手法の見直し等」・「縮小」・「廃止」・「外部委託」・「デジタル化」・「その他」の6つの方向性を定め、事務事業の在り方を見直ししました。

現状における課題や最適化の方向性を示した個別シートに基づき、令和5年度以降、各事業の見直しを行います。

なお、本計画の終期については、美郷町第3次総合計画の前期行動計画の終期に合わせ、令和7年度までとします。

3 事務事業最適化計画 個別シート

事務事業最適化計画 個別シート 総括表

| NO | 課名 | 事業・事務の名称 | 最適化の方向性 | | | | |
|----|------------------------|--|---------|----|----|----|------------|
| | | | 手法の見直し | 縮小 | 廃止 | DX | その他 |
| 1 | 総務課 | 投票区の再編 | | ○ | | | |
| 2 | 総務課 | 会計年度任用職員給与支払い事務の見直し | ○ | | | | |
| 3 | 総務課 | 行政相談の縮小 | | ○ | | | |
| 4 | 総務課 | 指定管理者モニタリングの簡素化 | ○ | | | | |
| 5 | 総務課 | 美郷町職員の接遇に関するアンケートの見直し | | | ○ | | |
| 6 | 総務課 | 入札・契約事務の見直し | ○ | ○ | | | ○ 基準見直し |
| 7 | 総務課 | 発注・契約事務のシステム化 | ○ | | | ○ | |
| 8 | 企画財政課 | 行政文書の電子決裁化 | ○ | | | ○ | |
| 9 | 福祉保健課 | 敬老会(式典)の開催の見直し | ○ | ○ | ○ | | |
| 10 | 商工観光交流課 | 雁の里山本公園管理業務等 類似委託業務の見直し | ○ | | | | ○ 統合 |
| 11 | 商工観光交流課 | 町内公衆トイレ設置の見直し | ○ | | | | ○ 調査実施 |
| 12 | 出納室 | 請求書の押印省略 | ○ | | | | |
| 13 | 出納室 | 送金件数の削減 | ○ | | | | |
| 14 | 生涯学習課 | 出張所業務の見直し | ○ | | ○ | ○ | |
| 15 | 生涯学習課 | 町所蔵品図録の管理方法の見直し | | | | ○ | |
| 16 | 生涯学習課 | 坂本東嶽邸、千屋断層学習館、歴史民俗資料館のガイドの見直し | | | | ○ | |
| 17 | 生涯学習課 | わくわくスクールの見直し | ○ | | | | |
| 18 | 生涯学習課 | チャレンジデー参加の見直し | ○ | | | | |
| 19 | 生涯学習課 | スポーツ少年団の事務局移管 | ○ | | | | |
| 20 | 生涯学習課 | スポーツ協会の事務局移管 | ○ | | | | |
| 21 | 全課 | 会計年度任用職員雇用管理事務の効率化 | ○ | | | ○ | |
| 22 | 総務課・住民生活課 福祉保健課・農政課 | 行政協力員会議・廃棄物減量等推進員会議・ 健康づくり推進員会議・転作推進員会議の簡素化 | ○ | | ○ | | |
| 23 | 住民生活課 教育推進課 | 子ども見守り隊とこども・女性110番の統合 | ○ | | | | ○ 統合 |
| 24 | 住民生活課 教育推進課 | 防災出前授業と防災教育事業の統合 | ○ | | | | ○ 統合 |
| 25 | 総務課 企画財政課 | 窓口延長の廃止 | ○ | | ○ | | |
| 26 | 農政課 住民生活課・福祉保健課 | 募金活動の見直し | ○ | | ○ | | |

最適化の具体的内容

| |
|---|
| <p>現状における課題を踏まえ、有権者が少なく、かつ当日投票者が少ない以下の投票区について再編を行う。 <再編投票所> ・第5投票区 大坂生活環境改善センター ・第8投票区 外川原部落会館 ・第12投票区 美郷町本館コミュニティセンター ・第15投票区 沢目児童館</p> |
| <p>会計年度任用職員の期末手当の支給時期を変更する。(12月期 10日支給→15日支給) 合わせて、給与支払い事務の効率化のため、パートタイム職員の給料の月給制導入について検討する。 住民ニーズが低下している現状を踏まえ、総務省と協議の上、開催回数を毎月1回から、年4回に縮小し、開催する。</p> |
| <p>実態を踏まえ、事務負担軽減のため検査項目を削減、簡素化し、モニタリングを実施する。</p> |
| <p>調査開始から丸5年となる令和5年12月までアンケート調査を実施し、継続して高い評価結果(評価項目が概ね4.5以上の結果)となった場合は、事業目的が達成されていると判断し、以後、定期的な調査は行わないこととする。</p> |
| <p>消費税、労務・物価上昇を考慮し、近隣自治体を参考に随意契約の基準額を20万円に上げるよう、関係規則を見直しする。 また、発注事務書類等の整理・簡略化に向けて、「入札連絡票の廃止」・「発注伺と見積徴取伺の起案の統一」・「少額建設工事等の選定委員会資料作成の省略」を行う。</p> |
| <p>入札参加申請システム及び契約管理システムを導入する。 なお、導入については、今後策定するDX推進計画の中で、一体的に検討する。 電子決裁の対象を行政文書に拡大し、事務事業の効率化を図る。</p> |
| <p>他の高齢者福祉等の充実に予算を割り当てることとし、敬老会については記念行事のみを行い、全員への記念品配布は廃止する。</p> |
| <p>湯とびあ雁の里温泉周辺(①雁の里山本公園管理業務 ②雁の里山本公園パークゴルフ場管理業務 ③湯とびあ雁の里温泉修景・花菖蒲園管理業務)の維持管理を一本化する。 利用状況を調査し、施設存続について検討する。 また、施設を廃止するとした場合、今後の敷地の利用方法についても合わせて検討する。 町へ提出する請求書の押印を省略可能とする。合わせて、押印を省略した請求書について、メールでの提出を可能とする。</p> |
| <p>債権者からの請求を月まとめにもらうよう調整を図る。</p> |
| <p>直接郵送や電子申請など、役場・出張所に出向がなくても提出可能な方策について、今後策定するDX推進計画の中で一体的に検討し、提出方法の見直しをする。 また、年度末、年度始めは本庁でしか対応できない手続きが多いことから、年度末・年度始めの出張所での窓口延長を廃止する。</p> |
| <p>収蔵品管理システム(クラウド)を導入する。</p> |
| <p>学芸員の対応が必要ないよう、AI音声合成ソフトおよびガイドアプリ(※)を導入する。 ※展示品にQRコードを表示し、それをスマートフォン等で読み取ることで、音声案内されるアプリ 事業目的を見直し、連携企業事業主体による体験学習プログラムを通して、子どもの心身の成長を支えていく内容とする。</p> |
| <p>チャレンジデーへの参加を見直し、町独自のスポーツイベントに切り替え、実施する。</p> |
| <p>事務局を移管し、組織として機能する新たな事務局を確保する。</p> |
| <p>事務局を移管し、組織として機能する新たな事務局を確保する。</p> |
| <p>募集作業の効率化と簡素化のため、ハローワークインターネットサービスを導入する。</p> |
| <p>集合形式での会議は行わず、資料配布や書面開催により実施する。 なお、制度改正や新たな事業が実施されるなど、各事業で説明の必要が生じた際は、集合形式での説明会を開催する。</p> |
| <p>子ども見守り隊を、住民生活課の防犯施策として実施しているこども・女性110番の家事業へ統合し、子どもだけではなく、女性、老人等を含む町民全体の見守り事業として実施する。 教育委員会所管の防災出前事業を、住民生活課の防災関連事業として一体的に開催する。</p> |
| <p>今後、DX推進計画において、令和6年12月頃を目途に、窓口業務の予約システムが整う見込みであることから、その達成時期に合わせ、窓口延長(毎週水曜日及び年度末年度始め)を廃止し、予約方式へ移行する。 行政協力員等を通じた行政区の募金活動を廃止し、職場募金・学校募金など、募金方法を変えて実施する。</p> |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|
| No | 1 | 課 名 | 総務課 | 班 名 | 総務班 |
|----|---|-----|-----|-----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|--------|
| 事業・事務 の名称 | 投票区の再編 |
|--------------|--------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

| | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

投票者の動向は、人口減少に伴い、有権者数の減少傾向が続いている。また、期日前投票制度の浸透により、期日前投票者が増える一方、当日の投票者数の減少が進んでいる状況にある。
有権者の少ない投票所においては、投票管理者・投票立会人の確保に苦慮しており、今後の選挙執行に支障をきたしかねない状況も危惧される。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|--|----|----|------|-------|-----|
| | | ○ | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 現状における課題を踏まえ、有権者が少なく、かつ当日投票者が少ない以下の投票区について再編を行う。 <再編投票所> ・第5投票区 大坂生活環境改善センター ・第8投票区 外川原部落会館 ・第12投票区 美郷町本館コミュニティセンター ・第15投票区 沢目児童館 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|
| No | 2 | 課 名 | 総務課 | 班 名 | 総務班 |
|----|---|-----|-----|-----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|---------------------|
| 事業・事務 の名称 | 会計年度任用職員給与支払い事務の見直し |
|--------------|---------------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

会計年度任用職員制度については、令和2年度より開始され、この制度改正により、これまでの臨時職員制度にはなかった、期末手当が支給可能になることに加え、令和4年度からはパートタイム職員の共済組合への移行など、制度拡充に伴い、事務負担も増加している。さらに、地方自治法の改正により、勤勉手当の支給も見込まれるなど、更なる事務負担が見込まれている。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 会計年度任用職員の期末手当の支給時期を変更する。(12月期 10日支給→15日支給) 合わせて、給与支払い事務の効率化のため、パートタイム職員の給料の月給制の導入について検討する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|
| No | 3 | 課 名 | 総務課 | 班 名 | 総務班 |
|----|---|-----|-----|-----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|---------|
| 事業・事務 の名称 | 行政相談の縮小 |
|--------------|---------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

行政相談は総務省管轄の業務で、月1回開催している。行政相談員2名に加え、町職員1名が、相談日に会議室等へ出向き開設しているが、直接相談に訪れる住民はほとんどいない状態が、何年も続いている。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | | ○ | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 住民ニーズが低下している現状を踏まえ、総務省と協議の上、開催回数を毎月1回から、年4回に縮小し、開催する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|
| No | 4 | 課 名 | 総務課 | 班 名 | 総務班 |
|----|---|-----|-----|-----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|-----------------|
| 事業・事務 の名称 | 指定管理者モニタリングの簡素化 |
|--------------|-----------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

現在の指定管理者は、第三セクターが2者、NPO法人が1者、任意団体が1者で、民間企業によるものはなく、いずれの団体ともコミュニケーションを密に取り合える関係が確立されている。この状況を踏まえると、現在のモニタリングチェックシートの検査項目は、担当課による日常的な確認や連絡で適正な対応を指示できる項目が多く、さらには適正に実施して当然の項目も見受けられる。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 実態を踏まえ、事務負担軽減のため検査項目を削減、簡素化し、モニタリングを実施する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|---|----|-----|----|-----|
| No | 5 | 課名 | 総務課 | 班名 | 総務班 |
|----|---|----|-----|----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|----------|-----------------------|
| 事業・事務の名称 | 美郷町職員の接遇に関するアンケートの見直し |
|----------|-----------------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

職員の接遇に関するアンケートについては、職員の接遇向上などを目的に、平成31年1月より年4回実施している。「身だしなみ」「あいさつ」「言葉づかい」など8項目について、5段階評価で実施しているが、どの回とも概ね4.5以上の結果で、高い評価結果となっている。一方、回答者数は減少傾向にあり、職員の接遇向上という点では、一定の事業目的は達成されている。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| | | | ○ | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 調査開始から丸5年となる令和5年12月までアンケート調査を実施し、継続して高い評価結果(評価項目が概ね4.5以上の結果)となった場合は、事業目的が達成されていると判断し、以後、定期的な調査は行わないこととする。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|---|----|-----|----|-----|
| No | 6 | 課名 | 総務課 | 班名 | 管財班 |
|----|---|----|-----|----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|----------|-------------|
| 事業・事務の名称 | 入札・契約事務の見直し |
|----------|-------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

契約事務を迅速かつ効率的に行うため、随意契約が可能な基準額及び請書等の作成が省略できる基準額をそれぞれ10万円未満と定めているが、消費税や労務・物価単価の上昇により、基準額の見直しが必要となっている。また、契約における事務手続きは、同じ情報の入力繰り返しが多く、非効率かつ入力ミスが発生しやすいため、整理、簡略化が必要である。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|------------|
| | ○ | ○ | | | | ○ 基準見直し |
| 最適化の 具体的内容 | 消費税、労務・物価上昇を考慮し、近隣自治体を参考に随意契約の基準額を20万円に上げるよう、関係規則を見直します。 また、発注事務書類等の整理・簡略化に向けて、「入札連絡票の廃止」・「発注伺と見積徴取伺の起案の統一」・「少額建設工事等の選定委員会資料作成の省略」を行う。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|---|----|-----|----|-----|
| No | 7 | 課名 | 総務課 | 班名 | 管財班 |
|----|---|----|-----|----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|---------------|
| 事業・事務 の名称 | 発注・契約事務のシステム化 |
|--------------|---------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

| | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

①入札参加申請
2年に一度の定期申請のほか、随時受付により約900件の申請を紙ベース(郵送又は窓口持参)で処理しており、申請受付に係る事務負担(入力・審査・書類不備対応等)が大きい。

②各課発注事務の効率化
業者選定、起工、公告(指名・見積依頼)、契約締結(入札・見積結果)、検査・検収の一連の事務について、Excel・Word等によりその都度文書を作成しているため、入力の手間が多く、事務ミスが発生しやすい。また、総務課では、各課からの文書をExcelに転記してデータベース化しており、非効率的である。業者選定から、検査・検収までの一連の業務をシステム化することで、全庁的に業務量(年間1,200件以上対象)を削減することができる。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | ○ | |
| 最適化の 具体的内容 | ①入札参加申請システムの導入 システムを導入し、入札参加申請(新規・受付)の作成・提出・受付をインターネット経由で行う。 ②契約管理システムの導入 入札参加申請システムとデータ連携可能な契約管理システムを導入し、業者選定から検査・検収までの業務を一元管理する。システム入力するだけでデータ管理ができるようになり、発注内容の検索や情報共有が容易になるほか、複写機能等の利用でさらに効率的な事務ができる。 なお、導入については、今後策定するDX推進計画の中で、一体的に検討する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|---|-----|-------|-----|-------|
| No | 8 | 課 名 | 企画財政課 | 班 名 | 情報統計班 |
|----|---|-----|-------|-----|-------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|------------|
| 事業・事務 の名称 | 行政文書の電子決裁化 |
|--------------|------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input checked="" type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

行政サービスが多様化している中、人員不足による影響が深刻化することが見込まれるため、国のDX推進や働き方改革を踏まえ、決裁に要していた時間やコスト削減、オンライン申請・承認によるスムーズなやりとりを可能とするよう、デジタル化による事務事業の効率化を図る必要がある。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|-------------------------------|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | ○ | |
| 最適化の 具体的内容 | 電子決裁の対象を行政文書に拡大し、事務事業の効率化を図る。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|---|-----|-------|-----|---------|
| No | 9 | 課 名 | 福祉保健課 | 班 名 | 地域包括支援班 |
|----|---|-----|-------|-----|---------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|----------------|
| 事業・事務 の名称 | 敬老会(式典)の開催の見直し |
|--------------|----------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は、敬老記念行事と全員への記念品配布を行ったが、記念品については多様な意見をいただいている。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|--|----|----|------|-------|-----|
| | ○ | ○ | ○ | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 他の高齢者福祉等の充実に予算を割り当てることとし、敬老会については記念行事のみを行い、全員への記念品配布は廃止する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|---------|-----|-----|
| No | 10 | 課 名 | 商工観光交流課 | 班 名 | 観光班 |
|----|----|-----|---------|-----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|-------------------------|
| 事業・事務 の名称 | 雁の里山本公園管理業務等 類似委託業務の見直し |
|--------------|-------------------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

| | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

令和4年度、湯とびあ雁の里温泉周辺の花菖蒲園を全て芝地化する工事を実施し、その後は、下記①～③のいずれの業務も芝地の管理が主な業務内容となる。それぞれの業務エリアも隣接しているため、令和5年度以降は、3つの業務を一本化することで、事務負担の軽減やコスト削減を図られる。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|---------|
| | ○ | | | | | ○ 統合 |
| 最適化の 具体的内容 | 湯とびあ雁の里温泉周辺(①雁の里山本公園管理業務 ②雁の里山本公園パークゴルフ場管理業務 ③湯とびあ雁の里温泉修景・花菖蒲園管理業務)の維持管理を一本化する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|----|---------|----|-----|
| No | 11 | 課名 | 商工観光交流課 | 班名 | 観光班 |
|----|----|----|---------|----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|----------|---------------|
| 事業・事務の名称 | 町内公衆トイレ設置の見直し |
|----------|---------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

| | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

町内の公衆トイレは、主に観光トイレとしての位置付けであるが、コンビニエンスストアの設置増加に加え、特に冬期間は観光としての利用実態は低い。
ランニングコストに見合った効果が得られないとはいえないため、利用状況の調査を経て、設置状況を見直す必要がある。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|--|----|----|------|-------|-----------|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | | ○ 調査実施 |
| 最適化の 具体的内容 | 利用状況を調査し、施設存続について検討する。 また、施設を廃止とした場合、今後の敷地の利用方法についても合わせて検討する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|-----|-----|-----|
| No | 12 | 課 名 | 出納室 | 班 名 | 出納班 |
|----|----|-----|-----|-----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|----------|
| 事業・事務 の名称 | 請求書の押印省略 |
|--------------|----------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

行政のデジタル化の動向を踏まえ、町民及び事業者等の負担軽減と行政手続きのオンライン化を見据えた業務の効率化の推進を図る必要がある。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 町へ提出する請求書の押印を省略可能とする。合わせて、押印を省略した請求書について、メールでの提出を可能とする。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|-----|-----|-----|
| No | 13 | 課 名 | 出納室 | 班 名 | 出納班 |
|----|----|-----|-----|-----|-----|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|---------|
| 事業・事務 の名称 | 送金件数の削減 |
|--------------|---------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

指定金融機関等において、これまで無料だった送金手数料が有料化の方向に変わってきており、送金件数を削減するための方法について今後検討を進める必要がある。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|-----------------------------|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 債権者からの請求を月まとめにしてもらうよう調整を図る。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|-------|-----|--------|
| No | 14 | 課 名 | 生涯学習課 | 班 名 | 歴史文化財班 |
|----|----|-----|-------|-----|--------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|-----------|
| 事業・事務 の名称 | 出張所業務の見直し |
|--------------|-----------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input checked="" type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

書類取次の種類が年々増加しており、煩雑になっている。
また、年度末・年度始めの繁忙期窓口延長は、出張所においては取扱い件数が少なく、本庁でしかできない異動手続きについては、日曜日の本庁開庁を望む声が少なからずある。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| | ○ | | ○ | | ○ | |
| 最適化の 具体的内容 | 直接郵送や電子申請など、役場・出張所に出向かなくても提出可能な方策について、今後策定するDX推進計画の中で一体的に検討し、提出方法の見直しをする。 また、年度末、年度始めは本庁でしか対応できない手続きが多いことから、年度末・年度始めの出張所での窓口延長を廃止する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|-------|-----|--------|
| No | 15 | 課 名 | 生涯学習課 | 班 名 | 歴史文化財班 |
|----|----|-----|-------|-----|--------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|-----------------|
| 事業・事務 の名称 | 町所蔵品図録の管理方法の見直し |
|--------------|-----------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input checked="" type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

これまでは、Microsoft Accessで作ったシステムで台帳管理していたが、ソフトウェアのバージョンアップにより使用できなくなり、現在はExcelで一覧表管理している。一覧表管理では写真の紐づけが出来ない(出来てもファイル容量が大きくなる)ため、ソフトウェアのバージョンに左右されない、市販又はサービス提供されているシステムの導入が必要である。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|-----------------------|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | | | | | ○ | |
| 最適化の 具体的内容 | 収蔵品管理システム(クラウド)を導入する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|-------|-----|--------|
| No | 16 | 課 名 | 生涯学習課 | 班 名 | 歴史文化財班 |
|----|----|-----|-------|-----|--------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 事業・事務 の名称 | 坂本東嶽邸、千屋断層学習館、歴史民俗資料館のガイドの見直し |
|--------------|-------------------------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input checked="" type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

通常の説明は、管理人やボランティアガイドによる簡易的な説明で対応可能だが、専門的な説明が必要な時は学芸員を派遣して対応しており、通常業務に支障が生ずるケースがある。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|--|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | | | | | ○ | |
| 最適化の 具体的内容 | 学芸員の対応が必要ないよう、AI音声合成ソフトおよびガイドアプリ(※)を導入する。 ※展示品にQRコードを表示し、それをスマートフォン等で読み取ることで、音声案内されるアプリ | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|-------|-----|-------|
| No | 17 | 課 名 | 生涯学習課 | 班 名 | 社会教育班 |
|----|----|-----|-------|-----|-------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|--------------|
| 事業・事務 の名称 | わくわくスクールの見直し |
|--------------|--------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input checked="" type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

わくわくスクールは子どもの居場所づくりという目的で長期休業中に実施することでスタートしたが、現在は学童保育の充実などにより参加者の減少や固定化する傾向にある。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 事業目的を見直し、連携企業事業主体による体験学習プログラムを通して、子どもの心身の成長を支えていく内容とする。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|-------|-----|---------|
| No | 18 | 課 名 | 生涯学習課 | 班 名 | スポーツ振興班 |
|----|----|-----|-------|-----|---------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|---------------|
| 事業・事務 の名称 | チャレンジデー参加の見直し |
|--------------|---------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

毎年5月の最終水曜日に実施される全国イベントであるチャレンジデーについては、これまで県内全市町村が参加していたが、参加自治体は減少傾向にある。一方、スポーツへの意識づけは、健康増進の取り組みと相まって向上している。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | チャレンジデーへの参加を見直し、町独自のスポーツイベントに切り替え、実施する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|-------|-----|---------|
| No | 19 | 課 名 | 生涯学習課 | 班 名 | スポーツ振興班 |
|----|----|-----|-------|-----|---------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|---------------|
| 事業・事務 の名称 | スポーツ少年団の事務局移管 |
|--------------|---------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

スポーツ少年団の事務局を職員が担っており、他業務を圧迫している。特に年度始めは、団体の予算決算や会議等が重なり、負担感が大きい。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|-------------------------------|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 事務局を移管し、組織として機能する新たな事務局を確保する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|-------|-----|---------|
| No | 20 | 課 名 | 生涯学習課 | 班 名 | スポーツ振興班 |
|----|----|-----|-------|-----|---------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|--------------|
| 事業・事務 の名称 | スポーツ協会の事務局移管 |
|--------------|--------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

スポーツ協会の事務局を職員が担っており、他業務を圧迫している。特に年度始めは、団体の予算決算や会議等が重なり、負担感が大きい。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|-------------------------------|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 事務局を移管し、組織として機能する新たな事務局を確保する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|----|-----|--|
| No | 21 | 課 名 | 全課 | 班 名 | |
|----|----|-----|----|-----|--|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|--------------------|
| 事業・事務 の名称 | 会計年度任用職員雇用管理事務の効率化 |
|--------------|--------------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

現在、求人手続きについてはハローワークへ求人票を提出し、募集内容の校正、募集開始決定、採用結果等をすべて書面で行っている。募集の都度、ハローワークに向く必要があり、時間的コストも大きい。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| | ○ | | | | ○ | |
| 最適化の 具体的内容 | 募集作業の効率化と簡素化のため、ハローワークインターネットサービスを導入する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|----|------------------------|----|--------------------------|
| No | 22 | 課名 | 総務課・住民生活課 福祉保健課・農政課 | 班名 | 総務班・環境安全班 健康対策班・農業振興班 |
|----|----|----|------------------------|----|--------------------------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|--|
| 事業・事務 の名称 | 行政協力員会議・廃棄物減量等推進員会議・健康づくり推進員会議・転作推進員会議の簡素化 |
|--------------|--|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度から3年間集合開催は行わず、資料配布や書面開催で会議を実施してきた。
この間の各事業については、問題なく行われており、住民の負担軽減にもつながり、概ね好評であった。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| ○ | | | ○ | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 集合形式での会議は行わず、資料配布や書面開催により実施する。 なお、制度改正や新たな事業が実施されるなど、各事業で説明の必要が生じた際は、集合形式での説明会を開催する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|----------------|-----|-------------------|
| No | 23 | 課 名 | 住民生活課 教育推進課 | 班 名 | 環境安全班 教育総務・指導班 |
|----|----|-----|----------------|-----|-------------------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|-----------------------|
| 事業・事務 の名称 | 子ども見守り隊とこども・女性110番の統合 |
|--------------|-----------------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

| | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

現在、教育推進課所管の子ども見守り隊と住民生活課所管のこども・女性110番の家の2種類の類似団体が存在する。人口減少、高齢化等により、発足時に登録された個人、団体等は減少しており、その見直しが必要である。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|--|----|----|------|-------|---------|
| ○ | | | | | | ○ 統合 |
| 最適化の 具体的内容 | 子ども見守り隊を、住民生活課の防犯施策として実施しているこども・女性110番の家事業へ統合し、子どもだけではなく、女性、老人等を含む町民全体の見守り事業として実施する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|-----|----------------|-----|-------------------|
| No | 24 | 課 名 | 住民生活課 教育推進課 | 班 名 | 環境安全班 教育総務・指導班 |
|----|----|-----|----------------|-----|-------------------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|------------------|
| 事業・事務 の名称 | 防災出前授業と防災教育事業の統合 |
|--------------|------------------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

教育委員会が実施していた防災出前事業は、平成26年度から平成30年度まで開催したが、令和元年度以降、中止している。また、住民生活課では、令和4年度より防災備蓄品を活用した防災教育を町内小中学校の避難訓練時に実施している。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-----------------------|--|----|----|------|-------|---------|
| 方向性 (該当する ものに○) | ○ | | | | | ○ 統合 |
| 最適化の 具体的内容 | 教育委員会所管の防災出前事業を、住民生活課の防災関連事業として一体的に開催する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|----|--------------|----|--------------|
| No | 25 | 課名 | 総務課 企画財政課 | 班名 | 総務班 情報統計班 |
|----|----|----|--------------|----|--------------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|---------|
| 事業・事務 の名称 | 窓口延長の廃止 |
|--------------|---------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

窓口業務の延長については、住民異動等が多くなる3月下旬から4月上旬と、毎週水曜日に実施している。仕事をしている住民等への一定のニーズに対して役割を果たしているものの、利用者がいない日もあり、職員の負担感も大きい。窓口延長で申請の多い住民票や証明書の発行の一部の業務については、現在もマイナンバーカードを利用したコンビニ交付等により、役場開庁時間外でも手続きできる環境が整ってきている。

3 最適化の方向性

| 方向性 (該当するものに○) | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|---|----|----|------|-------|-----|
| ○ | | | ○ | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 今後、DX推進計画において、令和6年12月頃を目途に、電子申請システムが整う見込みであることから、その達成時期に合わせ、窓口延長(毎週水曜日及び年度末年度始め)を廃止し、予約方式へ移行する。 | | | | | |

事務事業最適化計画 個別シート

| | | | | | |
|----|----|----|--------------------|----|----------------------|
| No | 26 | 課名 | 農政課 住民生活課・福祉保健課 | 班名 | 農林整備班 環境安全班・健康対策班 |
|----|----|----|--------------------|----|----------------------|

1 事業・事務の名称

| | |
|--------------|----------|
| 事業・事務 の名称 | 募金活動の見直し |
|--------------|----------|

2 現状における課題(該当するものに✓)

| | | |
|-------------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 手法の変更・見直し | コスト削減や事務負担の軽減の観点から、最適な方法の検討が必要である |
| <input type="checkbox"/> | 住民ニーズの低下 | 現在の社会・住民ニーズの変化により必要性が低下している |
| <input type="checkbox"/> | 事業目的の達成 | 社会経済情勢などの変化により、事業目的が既に達成されている |
| <input type="checkbox"/> | 事業集約の必要性 | 事業目的や対象者が類似するもの、国・県や他団体が同種の事業を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 事業規模の縮小 | 人口減少や少子高齢化により、今後事業の縮小が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> | その他 | |

現状における課題の具体的内容(該当がある場合記載)

農政課が実施している「緑の羽根募金」、住民生活課が実施している「青い羽根募金」、福祉保健課が実施している「複十字シール運動・ハンセン病援護募金」は、それぞれ行政協力員や消防団員、健康生活推進員等を通じて募金を募り、実施してきた。各世帯を回っての募金活動は負担感も大きく、行政協力員等が実施すべきものではないことから、募金活動の見直しが必要と考える。

3 最適化の方向性

| | 手法の見直し等 | 縮小 | 廃止 | 外部委託 | デジタル化 | その他 |
|-------------------|--|----|----|------|-------|-----|
| 方向性 (該当するものに○) | ○ | | ○ | | | |
| 最適化の 具体的内容 | 行政協力員等を通じた行政区の募金活動を廃止し、職場募金・学校募金など、募金方法を変えて実施する。 | | | | | |

